



こおりやま 市議会だより



第217号 — 令和8年6月定例会 —



わたしたちが考える 未来の郡山！
～ 芳山小学校 議場見学・模擬投票 ～

【2頁 特集】

議場の中を紹介します！

【15頁】

議場見学を開催しました～芳山小学校～

主な掲載内容

特集	2頁
6月定例会の概要	3頁
市政一般質問	5頁
議会PDCAサイクル	13頁
議場見学	15頁
議会報コンクール	16頁
9月定例会開催予定	18頁

この議会だよりは、リサイクル可能です。読み終えた後は、資源回収などへ、リサイクルしてください。

議場の中を紹介します！

特集

市政に関する重要な議論が交わされる市議会本会議は、市役所西庁舎7階の議場で行われています。議場には議長席や議席、質問台などがあり、それぞれの席には役割が定められています。普段はなかなか見ることのできない議場の内部をお伝えします。



①議長席

議長がこの席に座り、会議の進行を行います。

②議席

議員は、決められた議席番号の席に座り、着座後に自分の氏名標を立てます。

③演壇

議員が一括質問※¹を行ったり、市長が答弁や発言を行います。

④質問台

議員が一問一答※²で質問を行ったり、一括質問の再質問を行います。

⑤理事者席

市長や副市長、各部長などが座り、議員からの質問に対して答弁を行います。

※¹ 一括質問 … 市に対する質問をまとめて最初に伝え、その後で答弁を受ける手法

※² 一問一答 … 市への質問を1つずつ順番に行い、それぞれの質問に対してその都度答弁を受ける手法

◇ 本会議の様子をぜひ直接、御覧ください！



※ 議場2階の傍聴席へは、エレベーターでも移動できます。



西庁舎7階での傍聴受付後に、議場2階にお進みください。

西庁舎7階南西にあります。⇒

令和8年6月定例会の概要

選ばれるまち郡山の実現に向けた各施策の推進に要する経費を含む一般会計補正予算（第4号）など議案29件、議案案2件を可決

6月定例会を6月15日から6月30日までの16日間にわたり開催しました。

初日は、開会後、会期の決定、諸般の報告、議会改革特別委員会及び本市の特性を活かした選ばれるまちづくり特別委員会の間報告に続き、市長が提出議案の提案理由を述べました。

その後、郡山市印鑑条例の一部を改正する条例の議案1件を、生活福祉常任委員会へ付託し、委員会の審査結果報告を受け、全会一致で可決しました。

19日から24日までは、15人の議員が市政一般質問を行いました。

25日と26日は、各常任委員会で、付託された議案24件と請願2件を審査しました。

最終日となる30日の本会議では、各常任委員会の審査結果報告を受けた後、1人の議員から反対討論がありました。その後、採決を行い、議案21件と請願2件を全会一致で可決・承認・採択したほか、国民健康保険特別会計補正予算ほか議案2件を賛成多数で可決しました。

また、追加提出された郡山市固定資産評価審査委員会委員の選任等人事案件3件と、意見書の議案案2件について、全会一致で同意・可決しました。

さらに、追加提出された補正予算議案1件について、各常任委員会へ付託し、委員会の審査結果報告を受け、全会一致で可決し、全日程を終了しました。

常任委員会の審査状況

総務財政

問 高速道路カントリーサイン※更新に伴うデザイン作成は、どのように進めるのか。

答 設置場所付近の小学校で、ワークショップにより子どもたちからイメージを募り、それらを基に市内でデザインを学ぶ学生が図案を作成・監修し、仕上げていく予定である。

※カントリーサイン：市町村の境界に設置されている道路標識で、市町村を象徴するイラストと市町村名を合わせたもの。

生活福祉

問 国保税の低所得世帯等の子ども・子育て支援納付金分に対する市独自の減免措置は。

答 市独自で税額減免等を行う場合、ほかの被保険者に更に負担を求める、または、一般会計からの繰入れで補填をする場合、国民健康保険に加入していない市民に負担を求めることになることから、考えてはいない。

建設環境

問 河内クリーンセンター敷地内の樹木が倒木した事案を受けて、他の樹木の点検等を行ったのか。

答 敷地内の樹木の管理は、施設管理者が日ごろから目視確認などにより行っているが、今回の倒木を受け、葉が落ちているものなど倒木の危険があると思われる樹木を20本程伐採した。

文教経済

問 ツキノワグマ出没増加に伴うカメラ搭載ドローンの精度と操縦体制は。

答 追跡・監視体制の強化のため、数の中などに潜伏し目視できない個体の確認に、赤外線カメラを搭載したドローンを活用していく。操縦は、操作資格を持つ職員が対応する。

賛否が分かれた議案

賛成は「○」、反対は「×」と表記しています。

欠席：志翔会 1 名

全会一致で可決した議案

補正予算	一般会計（第4号）	その他	工事請負契約（河川改修工事（準用河川照内川、普通河川愛宕川（善宝池）、準用河川徳定川）、校舎長寿命化改修事業（大成小、芳賀小、小山田小）、屋内運動場長寿命化改修事業（安積中、行徳小）） 財産の取得（消防ポンプ自動車2台、気化熱冷風機81台、タブレット端末10,253台、フルコンサートグランドピアノ1台） 町の区域の画定 専決処分の承認を求めること 郡山市固定資産評価審査委員会委員の選任 郡山市月形財産区管理委員の選任 郡山市舘財産区管理委員の選任								
	一般会計（第5号）										
	下水道事業会計（第1号）										
条例改正	郡山市税条例										
	福島復興再生特別措置法に基づく特定事業活動における固定資産税の課税免除に関する条例										
	郡山市乳児等通園支援事業に関する条例										
	郡山市印鑑条例										
	郡山市介護保険条例										
	郡山市上下水道事業の設置等に関する条例										

採択した請願

- 地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書
- 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書

可決した意見書

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

賛否などの詳細は市議会ウェブページを御覧ください。



議案等に対する
各議員の賛否



請願文書

令和8年6月定例会

市政一般質問

● 今回の質問者数15名

● 掲載項目

行った質問のうち、質問者が選択した2項目を掲載しています。

また、掲載項目は質問者間で重複しないよう調整しています。

● 記事の内容

掲載の質問や答弁は、要約しています。詳細は、配信動画や会議録を御覧ください。

● 配信動画

各記事のQRコードから、配信動画（郡山市議会公式YouTubeチャンネル）が御覧いただけます。

● 会議録

市議会ウェブページや市政情報センター（市役所本庁舎1階）、中央図書館、希望ヶ丘図書館、安積図書館、富久山図書館で御覧いただけます。なお、令和8年6月定例会の会議録が御覧いただけるのは、9月中旬になります。



会議録検索システム

一般質問



立憲民主党郡山

やえがし さよこ
八重樫小代子 議員



女性の働く場の創出や働きやすい環境の整備について

問

本市として、女性の流出を防ぐため、女性の働く場の創出や、働きやすい環境の整備を検討しているのか伺う。

答

本市では、オフィスビル等の賃借料に対する補助制度により、女性や若者等に人気がある都市型産業の誘致を推進してきたほか、地元産業や企業の魅力を発信し、興味や関心を高める取組みを積極的に進めている。

また、女性活躍推進等に取り組む事業者の表彰や、女性のキャリア支援などをテーマとした各種セミナーなどへの参加を促すなど、普及啓発に努めており、今後も、関係機関と連携した雇用環境の整備を促進し、女性や若者には選ばれるまちを目指していく。

子育て支援策の充実について

問

本年4月に子ども・子育て支援金が創設されたことにより、本市は子育て支援施策をどのように拡充するのか。

答

本市は、昨年3月に郡山市子ども・若者計画を策定し、育児負担の軽減や共働き世帯の支援など、子育て支援策を積極的に展開してきた。

今年度は、保育士合同就職相談会等で保育人材の確保を強化するほか、全公立放課後児童クラブでの夏季教室開設により、共働き世帯の支援を拡充するなど、引き続き子育て世帯等の多様なニーズを的確に把握し、子育て支援策の更なる充実を図っていく。



令和8年度子どもニコニコガイドブック

一般質問



郡山市議会公明党

小島 寛子
おじま ひろこ
議員

第2期市住生活基本計画実現に向けた推進体制について

問

住生活の将来像である、豊かで快適な住生活による選ばれるまちの実現に向けた住生活推進チームを構成して、選ばれるまちのメリハリをつけてほしいと考えるが見解は。

答

当該計画では、多様な価値観を踏まえた豊かな住環境を実現するため、市民、事業者等、市の各役割を定めており、子育て、福祉、環境、移住・定住等、関連分野との密接な連携等が必要である。

今後は、計画を着実に推進するために、(仮称)市住生活庁内推進検討会を設置し、子育て世帯等の住環境等の課題解決を図るなど、豊かで快適な住生活による選ばれるまちの実現を目指していく。

空家所有者等による適正管理の促進について

問

現行の空家に関する補助金制度を、活用しやすい支援制度として幅広い支援の展開に努めるための、具体的な取り組みは。

答

老朽危険空家の除却費用に対する補助金制度については、本年度から、補助の交付要件を拡げ、1件あたりの補助金交付額を50万円から80万円に増額したところである。

また、空家を処分する際に、残置物処分費用への補助として1件あたり10万円、相続手続費用などへの補助として1件あたり5万円を支給する補助金制度を7月から実施予定である。



一般質問



志翔会

本田 ほんだ

豊栄 とよえい
議員

法定相続人不在の空家について

問

法定相続人のいない空家に対する本市の対応を伺う。

答

法定相続人不在の空家対応は、民法の財産管理制度にある相続財産管理人や相続財産清算人による対応策と空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく代執行がある。

行政代執行は、建物の権利関係の確認が必要なうえ、市空家等対策審議会への諮問・答申を受け、特定空家として認定され、最終的に強制処分となることから、公益性や執行費用の確保も含め慎重な検討が必要と考えており、今年度実施する空家実態調査で、市内空家とその所有者の特定及び危険度判定を行い、調査結果を踏まえて全体の中で適切に対応していく。

民有地を含めた企業誘致について

問

民間開発案件に対する支援など、民有地を含めた本市の企業誘致の取組みを伺う。

答

現在分譲中の西部第一工業団地では、工場やデータセンターを含む情報関連施設等の誘致活動を行っている。

また、市内の空き工場やオフィスビル等の民間物件も、情報収集と企業誘致を戦略的に推進している。

西田町鬼生田地区の用地についても、経産省等に情報提供を行い、同省等が行う産業用地マッチング事業を通じ、全国に情報発信を行っている。

今後も民有地を含めた企業誘致を積極的に行っていく。



一般質問



志翔会

加藤

漢太 議員

小児初期救急医療体制再編
の背景と狙いについて

問

再編に踏み切った狙いと、医療従事者の負担軽減や救急医療連携がどう強化されるか。

答

小児科開業医の高齢化により小児救急医療体制維持が困難になるという危機感があり、多くの小児科医が配置され、三次救急病院※でもある太田西ノ内病院へ、小児初期救急を集約化することが最善であるとの結論に至った。

小児科開業医は、可能な範囲で太田西ノ内病院で診療を行うため、初期救急への従事負担は軽減される認識である。また、入院が必要となった際は、二次救急病院4病院が緊密に連携することから、安心して治療を受けていただけるものと考ええる。

※三次救急病院：最も重篤な患者を受け入れる医療機関

土曜日等共同保育について

問

他法人連携による共同保育の意義について市としてどのように評価しているか。

答

本市では、市土曜日等共同保育実施要領及びガイドラインを県内で初めて制定した。他法人連携の共同保育は、

保育士の勤務環境改善や複数園の学び合いによる保育の質の向上に意義深いものと認識しているが、保護者や児童には環境変化への対応等の負担をかけるため、実施事業者に対し保護者への十分な説明をお願いするとともに、引き続き、保育士の勤務環境の改善や保育の質の向上に資する取り組みを支援していく。



一般質問



無所属の会

箭内

好彦 議員

市営住宅における連帯保証
人の廃止について

問

保証人を廃止した他の中核市では、紙切れ1枚の保証人ではなく、具体的な行政のシステムとして解決している。本市も市営住宅の連帯保証人を不要とする検討を始めてほしいが見解は。

答

本市の市営住宅は、高齢者や障がい者、子育て世帯などの住宅確保要配慮者を受け入れるなど、重要なセーフティネットの役割を担っており、

連帯保証人には、入居者が家賃を滞納した場合の債務保証と緊急時に連絡する身元保証の大きな役割があるため、現時点では、連帯保証人制度を継続する考えである。



市営住宅

中田町小中学校の閉校・統合
に至った背景や経緯について

問

次年度から隣接した緑ヶ丘第一小学校と緑ヶ丘中学校にそれぞれ統合されるが、中田町住民の想いも含め閉校・統合に至った背景や経緯は。

答

昨年、中田町内の小・中学校の統合を進める会から提出された統合を希望する旨の要望書には、児童生徒数の減少により授業や部活動などにおける集団での活動が制限され、児童生徒がやりたいことを選択できないことから、保護者アンケートを行い、各種団体による議論の結果、統合という結論に至ったという経緯が示されている。

この要望書を受け、保護者説明会や住民説明会を実施し、本年度の交流活動や、統合後の学校教育活動等を協議した。

一般質問



立憲民主党

吉田 よしだ

きみお
公男 議員

うねめまつりについて

問 昨年は旧統一教会を許容するうねめまつり実行委員会であったが、今年も市長を先頭に踊り流しに参加するのか。

答 うねめまつりは長年にわたり市民に親しまれており、本市を代表する夏の一大イベントであるため、本市ではこれまで郡山商工会議所、行政機関などと共に実行委員会に参画してきたことから、本年もこれまで同様に市長が参加することを予定している。

なお、実行委員会では、今年度新たに踊り流しの参加規約を策定し、参加団体に一定の基準を設けており、引き続き適切に対応していく。



避難所の設置と避難計画及び避難訓練について

問 中田町は今年度末をもって5か所の避難所が閉鎖されるが、郡山市はどのような避難計画を作成しているのか、また今年の防災訓練についてどのように計画しているのか。

答 本市では地域防災計画に基づき避難情報等の判断・伝達マニュアル及び気象庁による新たな防災気象情報を踏まえた本市のタイムライン等により、避難情報の発令や避難所の開設及び運営等を実施することとしている。

また、総合防災訓練は、10月17日（土）にカルチャーパークを中央会場として実施予定であるが、中田町を含む各地区の防災訓練の具体的な内容は、関係機関と協議を行いながら決定する予定である。

一般質問



志翔会

もりあい
森合ひでゆき
秀行 議員

選ばれるまち推進課の重点戦略の設定について

問 ふるさと納税を突破口とし、シティブロモーション、関係人口、移住・定住へと繋げる戦略に転換すべきと考えるが見解は。

答 ふるさと納税は、財源確保に留まらず、本市への関心の高まり、地域経済への波及効果を示す成果の指標となる大変重要な施策と位置付けている。

その成果を最大化するため、まちの魅力発信を通じて、本市に関心を寄せた賛同者からふるさと納税を獲得することができ、関係人口や移住・定住者の増加に繋がる好循環が生み出されると認識している。

今後郡山で暮らす価値や魅力が実感できる施策を積み重ね戦略的に取り組んでいく。

郡山駅西口ロータリー改修について

問 乗車待ちスペース40台分の根拠や、タクシー・一般車の走行動線をどのように分けて混雑解消につなげるのか。

答 乗車待ちスペースの規模は、昨年度に取りまとめた交通量調査や、交通社会実験による実証データに基づき精査したうえで算定した。

車両の走行動線は、一般車とタクシーの走行レーンを物理的・構造的に完全分離することで、従来の相互進入に伴う交錯等が解消され、ロータリー全体の交通の円滑化が図られる見込みであり、今後も安全かつ円滑な交通環境の機能強化に取り組んでいく。

混雑解消が期待される
郡山駅西口ロータリー

一般質問



自由民主党郡山市議団

むらかみ こういち
村上晃一 議員



東部地区の市街化調整区域
における建築緩和について

問 東部地区において開発許可または建築確認された件数は。

答 昨年7月の都市計画法第34条第12号に基づく条例制定以降、開発許可の件数は、本年5月末現在で舞木町2件、富久山町1件、田村町2件の計5件である。

これらの開発許可のうち、建築確認に至った件数は、同じく本年5月末現在で舞木町1件、富久山町1件、田村町2件の計4件である。



都市計画法第34条第12号
リーフレット

消防団員の活動時における
小型カメラ装着について

問 団員の現場での記録・検証および活動の透明性を担保するため、活動服やヘルメットに小型カメラを装着するべきと考えるが見解は。

答 常備消防では、消防職員が活動記録などを目的に小型カメラを活用している事例を確認しており、これにより、現場活動の記録や事後検証など、現場対応の効率化に有効であると認識している。

一方、撮影した映像に係る個人情報等の取扱いや、映像記録の保存・活用方法などの課題もあると考えているため、消防庁による消防団の装備に関する施策や、他自治体の動向を注視するとともに、現場で活動する団員の意見を聴きながら検討していく。

一般質問



新政会

とがし けんたろう
富樫賢太郎 議員



ゾーン30プラスの今後の
整備について

問 ゾーン30プラスの今後の整備についてどのように取り組んでいくのか。

答 本市では、昨年11月22日に大成小学校周辺地区を対象とした住民説明会を開催し、本年3月6日に鳴神地区をゾーン30プラスに設定した。

当該地区は本年度、大成小学校前の交差点部において、車道を歩道の高さにかさ上げし、ハンパ構造にすることで自動車の走行速度の低減を図るスムーズ横断歩道を整備する予定となっている。

今後も警察等の関係機関と連携を図り、安全・安心な交通環境確保に努めていく。



ゾーン30プラスの標識

市が発注する工事における
熱中症対策について

問 市が発注する工事において、発注者としてどのように対応しているのか。

答 本市が発注する工事においては、市の標準工期にあらじめ最大5日の猛暑による作業不能日数を加算した工期を設定し、気象状況を考慮した適切な工期の確保に努めている。

また、テント付き屋外休憩所や大型扇風機などの熱中症予防施設・設備の費用や、空調機付き作業服など現場作業員への熱中症対策に要する経費は、協議により設計変更が可能となっている。

今後も労働者の健康と安全が確保されるよう、受注者と連携して熱中症対策に努めていく。

一般質問



ほづらんの会

ふるやま
古山ゆい
唯 議員

相談支援専門員を増員するための方策について

問 障害児相談支援事業所の相談支援専門員不足解消のために今後どのように取り組んでいくのか。

答 本年3月に、本市及び市障がい者基幹相談支援センター、市内の事業所が官民一体で、相談支援体制の課題解決に向けた協議、検討を行う市障がい者相談支援体制のあり方検討会を設置し、現在、アンケート調査をもとに、実態の把握、分析を進めている。

今後は、アンケート結果を踏まえ、相談支援体制の確立に向けた新たな取り組みや必要な施策等の検討を進めるとともに、国に対し、人材確保策の構築等について要望するなど、持続可能な福祉体制の整備に取り組んでいく。

ICT機器操作が苦手な児童生徒への対応について

問 タブレット端末の操作が苦手な児童生徒に対して、学校では現在、どのような対策や指導をしているのか。

答 教師やICT支援員が操作手順を視覚的に示すなどの個別支援や、児童生徒同士が操作を教え合うなどの対応とともに、タブレット端末の文字入力の際には、タイピング入力のほか、音声入力など、児童生徒が特性に応じて機能を選択できるようにしている。

また、調べ学習等では、紙の資料からの情報収集など、児童生徒が自分に合った方法を選択できるようにして、学習の充実を図っている。



一般質問



新政会

あいた
會田かずお
一男 議員

自転車利用者の安全啓発について

問 本市の自転車利用者に対する交通ルールの遵守と安全運転の意識を高めるための啓発について伺う。

答 自転車利用者一人ひとりが交通ルールを正しく理解し、遵守する安全意識が重要であると考えており、自転車の安全な利用やヘルメット着用の重要性について昨年度は142回の街頭啓発を実施した。

本年度は青切符制度導入初日の街頭活動のほか広報こおりやまへの特集掲載や市政広報番組での放送などで周知を行っている。

今後関係機関を通じて周知や啓発に取り組んでいく。



市役所本庁舎1階ホールの啓発展示コーナー

タケノコの出荷制限について

問 県の山菜の出荷制限地域図では、多くの山菜が出荷制限となっているが、タケノコの出荷可能な年月の見通しは。

答 山菜等の出荷制限解除には、県が実施する検査で必要な要件を満たす必要があり、モニタリング検査や、市内全域から採取した検体の詳細検査が求められるが、現在、本市産のタケノコは要件が達成できず、出荷可能となる時期は見通せない状況である。

山菜の品目によっては、個体検査により、販売可能となる制度もあるが、タケノコは対象品目に含まれていない。出荷制限解除に向けた潜在的な要望もあることから、1日も早い出荷制限解除に向け、今後も国や県に要望していく。

一般質問



日本共産党郡山市議員

おかだ てつお
岡田 哲夫 議員（仮称）大滝山風力発電事業
の住民説明会開催について

問 住民説明会を事業者の責任で開催させることが必要と考えるが見解は。

答 事業者が法令に基づき開催する説明会に加え、住民理解を得るための話し合い等の機会を設けるなど、丁寧に進めるべきと考えており、本市は事業者に対して、住民理解を得るための継続的な説明会の開催を求めてきた。

こうした中、熱海町地域振興協議会において、事業者から概要や環境アセスの進捗状況等について説明があり、今後も引き続き説明を行うとともに、住民説明会を開催する意向が示されたところである。今後とも地域と共生した再生可能エネルギーの推進のため、適切に対応していく。

原油・ナフサの供給不足に
関する国への要望について

問 中小企業への直接的な支援を行うことについて、国に対して、直ちに要望すべきと考えるが見解は。

答 中東情勢の緊迫化に伴う資材の高騰や供給不足が全国に及ぼしていることから、全国市長会議において、国に対し地域経済対策の充実・強化を求める決議・要請を行った。

引き続き物価動向や地域経済に与える影響、中東情勢に対応した国・県等の政策効果を注視し、生活に及ぼす影響を最小限にとどめるため、的確な対応に努めていく。



一般質問



志翔会

さとう まさき
佐藤 政喜まさき
政喜 議員

本市の今後のごみ減量について

問 今後のごみ減量について、どのような目標を設定し、達成に向けてどのような施策を重点的に推進していくのか。

答 短期的には「郡山ごみ減量20%」を掲げ、来年度までに市民一人一日あたりのごみ排出量を970グラムまで削減すること、中期的には令和15年度までに同ごみ排出量を中核市平均以下とすることを目指している。

本年度は「2026パッケージ」として啓発強化月間の展開、分別の徹底、事業系一般廃棄物減量計画書の作成による取組みの促進、戦略的な情報発信等により、市民・事業者の行動変容に繋げ、循環と共生による持続可能なまちづくりに取り組んでいく。

都市計画道路「諏訪前西ノ山線」について

問 どのように陸上自衛隊との協議を進めてきたのか。また、未整備区間については積極的に推進すべきと考えるが見解は。

答 当該路線の未整備区間については、計画線上に防衛省陸上自衛隊高森訓練場があり、事業化にあたっては防衛省の理解と協力が不可欠であることから、平成26年度以降、陸上自衛隊郡山駐屯地に対し、整備への協力要請や意見交換を含めた協議を行ってきた。

今後も継続的な協議を進めるとともに、西部第一工業団地等の立地状況や財源等も踏まえ、総合的に検討していく。



建設が進む物流団地

一般質問



緑風会

名木 なぎ

敬一 議員

富久山町の交差点の利便性
向上について

問 国道288号富久山バイパスと内環状線接続部交差点に、地域住民の利便性向上のため、新たに歩行者用の押しボタン式信号の設置等の対策を講ずるべきと考えるが見解は。

答 当該交差点は、供用開始後に交通量が増加したため、交通安全対策として、信号機

が設置されたところであり、市としても歩行者の安全確保が重要課題と認識している。

当該箇所は、福島県の整備事業完了後に、歩道整備と併せて横断歩道の設置計画がある

と聞いており、今後、県や警察と連携して横断歩道の早期設置に向け調整していく。



交通量が多く整備が求められている交差点

部活動指導者の人材確保について

問 部活動指導者の確保のため、人材バンク設置等の具体的な取組みについて伺う。

答 部活動に参加する全ての生徒が、希望する種目に参加できる環境を整えるには、多くの指導者の確保が必要であると認識している。

現在、教職員及び各競技団体等を対象に、指導者になり得る地域人材について調査を行っており、人材バンク設置に向けて検討をしている。

また、県教育委員会と連携協定を結んだ一般社団法人が、部活動の地域連携・地域展開に向けた指導者の確保や研修等の支援を行うとの情報提供があり、これら支援を活用し、県と連携して部活動指導者の人材確保に努めていく。

一般質問



新政会

折笠 おりかき

正 議員

選ばれるまちに向けた
施策・事業について

問 選ばれるまち推進課で様々な事業がスタートしているが、各事業の意図、期待される効果について見解は。

答 移住・定住者や関係人口の拡大、ふるさと納税等を通じた本市応援者の増加、まちの魅力を発信するシティプロモーションの推進を3つのミッションとして掲げている。

今後は、市外転出後もつながり続ける機会の創出、ふるさと納税におけるプロモーションの強化等に加え、本市の認知度向上やシビックプライドを醸成し、若者、移住者、企業等の外からの流れの創出につなげていく。



ふるさと納税事業者訪問

田村町の産業廃棄物最終処分
場にかかる法整備等について

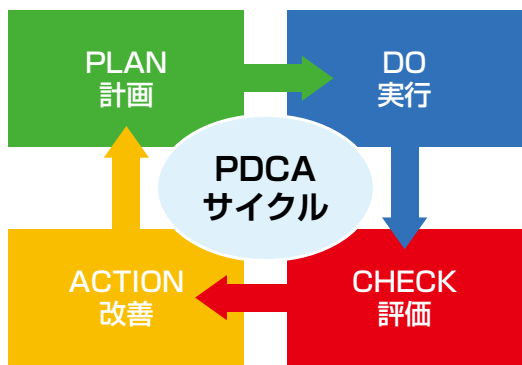
問 法整備・制度改正の実現に向け、市としてどのような要望活動等の取組みを行い、また今後どのように展開していく考えか。

答 最終処分場の設置は、中立地の調整や住民説明を担保する制度が十分ではない。

昨年9月に環境省を訪問し協議を行い、本年4月には県市長会議で制度改正の必要性を訴え、東北市長会における要望議案の採択につなげた。

また、5月には環境省へ直接要望を行い、意見交換の中で担当局長から、制度設計の難しさはあるが制度見直しの重要性と、対応を考えていくとの認識が示された。

今後も地域の実情が反映される制度の実現に取り組む。



※PDCAサイクル
計画(Plan) ↓ 実行(Do) ↓
評価(Check) ↓ 改善(Acti-
on)の4段階を繰り返す、業務を改
善する手法です。

議会としてのチェック機能
を果たすため、常任委員会で
事業の進捗報告の聴取と評価
を行うPDCAサイクル※を
行っています。
今定例会で次のとおり今年
度の対象事業を選定し、今後、
定例会ごとに当局からの報告
を受ける予定です。

令和8年度議会PDCA事業を選定

総務財政常任委員会

- ・郡山市消防団管理事業
- ・消防力整備事業
- ・移住・定住促進事業
- ・こおりやま応援寄附金事業
- ・シニアプロモーション推進事業
- ・公共施設等総合管理計画に
基づく施設の最適化
- ・貸館施設使用料の減免の適
正化

建設環境常任委員会

- ・駅前広場施設改修事業

生活福祉常任委員会

- ・Z世代地域活躍推進事業

文教経済常任委員会

- ・こおりやまスポーツイノベ
ーション事業(スポーツコ
ンテンツの高付加価値化)

請願・陳情の方法

～ 市議会へ、いつでも、どなたでも要望を伝えることができます ～



	請 願	陳 情
受 付	市政一般質問初日の午後5時まで ※定例会中に審議を希望する場合	開会日翌日の午後5時まで ※定例会中に議員への配付を希望する場合
取扱い	●関係する委員会で審査の上、本会議で審議し、採択・不採択を決定します。 ●採択した請願のうち、市の事務に関するものは市長へ送付し、処理の経過や結果の報告を求めます。国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。	●陳情書の写しを各議員に配付します。
提出方法	1. 文書による提出 2. オンラインによる提出(郡山市オンライン申請サービス、電子メール)	

請願書

年 月 日

郡山市議会議長様
(請願者住所)
(請願者氏名)※
(紹介議員)

〇〇〇について
請願趣旨
請願事項

紹介議員が
必要

陳情書

年 月 日

郡山市議会議長様
(陳情者住所)
(陳情者氏名)※

〇〇〇について
陳情趣旨
陳情事項

紹介議員は
不要

※文書による提出の場合、氏名は、署名又は記名押印が必要です。

特別委員会

議会改革特別委員会

令和8年3月25日、4月27日、5月25日開催の委員会では、各審議項目について協議を行いました。

■審議項目

- ・ 質問のあり方
- ・ 通年議会の導入検討
- ・ 常任委員会における会期中の議案審査、請願審査以外のあり方

本市の特性を活かした選ばれるまちづくり特別委員会

■審議項目に係る当局説明等

令和8年3月25日、4月27日開催の委員会では、当局より音楽やスポーツ、移住・定住促進に係る取組みについて説明を受け、種々質疑をかわしました。

5月25日開催の委員会では、どの関係団体からの意見を聴取するか協議を行いました。

市議会情報発信中

■「LINE（ライン）」

定例会の日程や議会中継の案内などをお知らせします。



市公式LINEに配信される定例会の日程

■無料アプリ「マチイロ」

議会だよりのほかに、広報こおりやまや他の自治体の広報紙を読むことができます。



マチイロで閲覧できる議会だより



←ここからアプリをダウンロード、郡山市を地域登録



←ここからアプリをダウンロード、市公式アカウントを登録

市議会ウェブページを見てみませんか



郡山市議会のウェブページでは、本会議や委員会の会議録、市議会議中継のほか、定例会日程など様々な情報を発信しております。

詳しくは郡山市ウェブサイト、右上のQRコード、または「郡山市議会」で検索してください。



議場見学を開催しました！

令和8年5月28日に、広聴広報委員会所属議員が、芳山小学校6年生53名の児童に議会の仕組みを紹介しました。

今回は、主権者教育の充実を更に図るため、新たに選挙管理委員会と連携した模擬投票も取り入れました。

児童にとって、選挙を通じて意思表示と、議会の意思決定を一体的に学ぶことができる貴重な体験となりました。

議場見学は、随時受付していますので、議会事務局にお問合せください。



選挙制度についての説明を受ける児童

模擬投票の体験

1 候補者演説

未来の市長選挙立候補者による演説を行いました。



演説している立候補者

2 投票方法の説明

選挙管理委員会事務局の職員が児童に分かりやすく投票方法について説明しました。



投票用紙の書き方についての説明を受ける児童

3 児童による模擬投票

候補者の演説を踏まえて、投票を行いました。



模擬投票を行っている児童

4 開票及び当選者確定

開票及び当選者の報告を行いました。



開票を見守る児童

模擬議会の体験

1 市議会のはなし

広聴広報委員会による議場紹介や議会の仕組みを、リーフレットを基に説明しました。

2 模擬議会の体験

児童が、市長役・議長役・議員役に分かれて、市長役の子が身近に感じていることを議案として提案し、議員役の子が審議し、本番さながらの電子採決を体験しました。



議案を真剣に審議する児童

3 質疑応答

質疑応答では、「議員になって一番嬉しかったことは」などの質問に対して、議員が丁寧に答えました。

会派名、所属議員数は、令和7年度末時点のものです。
 ※支出内訳中、広聴費、要請・陳情活動費、会議費及び人件費
 については、全会派0円のため省略しています。



収支報告書

(単位：円)

支 出 内 訳				差し引き額 【市への返還額】	会派執行率 (%)
資料作成費	資料購入費	事務所費	通信運搬・ 自動車燃料費		
347,876	888,327	1,358,403	460,424	2,693,549	79.59
61,747	679,194	339,863	509,612	5,622,249	47.94
18,674	158,011	156,334	250,225	1,023,613	78.67
185,402	199,240	123,328	158,539	387,241	91.93
0	234,000	132,500	31,162	3,202,338	11.05
0	27,768	0	0	705,732	70.59
2,687	78,496	14,331	0	264,226	88.99
0	181,578	43,518	0	436,485	63.63
0	0	0	0	1,200,000	0.00
4	0	0	0	203,176	83.07
616,390	2,446,614	2,168,277	1,409,962	15,738,609	65.49

政務活動費とは？

議員の調査研究などに必要な経費の一部として、会派に
 対し交付されます。

■交付概要

会派に対し、議員一人あたり
 月額10万円が交付されます。

■収支報告

会派は、収支報告書等を作成し、
 領収書等を添付して、議長に提出します。

残金は市へ返還します。

■情報公開

令和7年度の収支報告書や領収書等は、8月頃に市議会
 ウェブページで公開します。

また、市政情報センター（本
 庁舎1階）または議会事務局
 （西庁舎6階）でも閲覧するこ
 とができます。

議会報コンクール受賞

令和8年4月21日に行われた、中核市議会議長会第21回
 議会報コンクールで「こおり
 やま市議会だより第214号」が、
 審査員特別賞を受賞しました。
 同コンクールでの郡山市議
 会の受賞は、昨年度に続き2
 年連続の快挙となります。

審査員からは、「表紙写真の
 手話通訳の様子は構図に優れ
 ている」、「2、3ページ目で
 各議員の全身写真を使って親
 しみやすい構図にしているの
 はユニーク」、「一般質問に8
 ページを割き、文字の大きさ
 も高齢者も読める大きさにな
 っている」などの評価をいた
 できました。



議会報コンクール

令和7年度政務活動費収支報告

会 派 名		会派への 交付額	支 出 額	支 出 内 訳		
				調査研究費	研修費	広報費
志翔会	(11人)	13,200,000	10,506,451	1,437,460	2,166,770	3,847,191
新政会	(9人)	10,800,000	5,177,751	302,540	1,405,620	1,879,175
郡山市議会 公明党	(4人)	4,800,000	3,776,387	0	1,048,370	2,144,773
緑風会	(4人)	4,800,000	4,412,759	849,840	0	2,896,410
自由民主党 郡山市議団	(3人)	3,600,000	397,662	0	0	0
日本共産党 郡山市議団	(2人)	2,400,000	1,694,268	0	0	1,666,500
立憲民主党郡山	(2人)	2,400,000	2,135,774	0	0	2,040,260
無所属の会	(1人)	1,200,000	763,515	0	0	538,419
立憲民主党	(1人)	1,200,000	0	0	0	0
れいわ新選組	(1人)	1,200,000	996,824	0	0	996,820
合 計		45,600,000	29,861,391	2,589,840	4,620,760	16,009,548

議 員 表 彰

全国市議会議長会定期総会で、地方自治発展への尽力に対し、次の議員が表彰され、6月定例会の初日に議長から表彰状が伝達されました。

■議員10年以上表彰

箭内 好彦 議員
飯塚 裕一 議員
岡田 哲夫 議員
佐藤 栄作 議員
大木 進 議員
會田 一男 議員
折笠 正 議員
良田金次郎 議員
森合 秀行 議員

■正副議長4年以上表彰

佐藤 政喜 前議長

また、全国市議会議長会理事としての功績により、感謝状が贈呈されました。

近内 利男 議長
佐藤 政喜 前議長

議会報告会・意見交換会

令和8年度の議会報告会・意見交換会は、令和8年11月7日(土)に市役所西庁舎7階の議場等で開催します。

当日は、議会の活動報告のほか、市民と議員の意見交換会を行います。

今回から事前予約制(先着順)となり、予約開始は令和8年10月上旬を予定しています。

同時期にポスターやウェブページ等でもお知らせしますので、御確認のうえ、御応募ください。

議員辞職

議員任期6期目の田川正治議員は、令和8年5月31日付けで辞職いたしました。

なお、去る6月4日に、御逝去されました。

これにより、本市議会の現員数は37名となります。

9 月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
			9/2	3	4	5
			本会議(開会)	議案調査		休会
				※陳情締切		
6	7	8	9	10	11	12
休会	事務整理日 (休会)	本会議(市政一般質問)				休会
		※請願締切				
13	14	15	16	17	18	19
休会	常任委員会		事務整理日 (休会)	本会議 (補正予算等先議)	決算議案書熟読日 (休会)	休会
20	21	22	23	24	25	26
休会	休会	休会	休会	決算議案書熟読日 (休会)	決算議案書熟読日 (休会)	休会
27	28	29	30	10/1		
休会	決算特別委員会			本会議(閉会)		

- ・正式な日程は、定例会初日に決定します。
- ・本会議の様子はYouTubeの市議会チャンネルからライブ中継します。
- ・ライブ中継は、各行政センターでも御覧いただけます。
- ・ライブ中継後は、タイムラグなくYouTubeのアーカイブで視聴できます。



議会中継



議会を傍聴してみませんか



本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。本会議、常任委員会の会議開始は通常午前10時です。

	本会議	常任委員会
受付場所	西庁舎7階 傍聴受付	西庁舎6階 議会事務局
受付時間	会議開始 30分前から	会議開始 40分前～20分前
定員	74人 ※先着順	各委員会 15人 ※定員を超えた場合は抽選



編集後記

今号の表紙写真には、芳山小学校6年生の議場見学の様子を掲載しました。
郡山市議会では、主権者教育の一環として児童・生徒をはじめ、幅広く市民に議会の役割を理解していただくため、議場見学を実施しています。
今回は、新たに、選挙管理委員会と連携した模擬投票を実施したことで、投票から模擬議会までの流れを一体的に学ぶことができる良い機会となりました。
また、児童の皆さんが真剣に投票に臨み、議席で開票の様子を見守る姿からは、市政への関心の芽生えが感じられました。
今後も市民に開かれた議会と分かりやすい情報発信に努めてまいります。(遠藤 隆)

市議会だよりに対する御意見、御感想は議会事務局総務課議事課まで
TEL024-924-2521 メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp
印刷/株式会社坂本印刷所
※ QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

紙ヘリサイクル可



UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。